第８期事業報告書

第８期決算報告書

第８期監査報告書

２０２４（令和６）年６月　１日から

２０２５（令和７）年５月３１日まで

２０２５（令和７）年７月１０日

IPCO 一般社団法人
国際工業塗装高度化推進会議
International Promoting Council of Industrial Coating Association

第１号議案　２０２４年度事業報告

（2024 年 6 月 1 日から 2025 年 5 月 31 日まで）

１）役員構成及び社員数の増減

役員構成

理事長	坂井 秀也
副理事長	内山　貴識
副理事長	高橋 大
理事	稲田 健
理事	林 栄治
理事	一戸　亜土
理事	小澤　洋一
理事	堀　千佳子
監事	望月 徳三
アドバイザー	奴間 伸茂
アドバイザー	鈴木 雅洋
アドバイザー	鈴木 譲
アドバイザー	立花 敏行
アドバイザー	樋川　浩一
アドバイザー	片山 眞司
アドバイザー	田桐　澤根
アドバイザー	高寺　貴秀
アドバイザー	栁田　建三
シニアサポーター	木下 稔夫
シニアサポーター	藤井 俊治
シニアサポーター	福田 良介
名誉顧問	平野　克己

社員数の増減

	２０２４（令和 ６）年 ６月１日現在	２０２５（令和 ７）年 ５月３１日現在
団体会員	3	3
法人会員	１６	１７
個人会員	8	7
ネット会員	0	0
合　　計	２７	２７

新入会員

法人会員：長瀬産業（株）（2024 2/14 第 39 回理事会承認）

(有)かこうや （ 2024 6/12 第 40 回理事会承認）

大阪油化工業（株）(2024 9/11 第 41 回理事会承認）

２）事業報告

（1） 継続事業実績

内部事業としては、合同会議およびIPCO STUDYでの講演及び講習によるスキルアップ推進を図るとともに、対外事業としてはコーティング・ジャパンでの塗装セミナーへの参画を実施しました。

① 合同会議の開催

第１回(ハイブリッド開催) 2024 年 7 月 10 日(水)15:00～16:30　off 17 on 14 sum 31

報告

ⅰ　新年度からの体制

ⅱ　コーティング・コンソーシアム取組状況

ⅲ　第 3 回 IPCO カンファレンス報告

ⅳ　コーティング・ジャパン大阪 2024 での講演報告

第２回(ハイブリッド開催) 2024 年 9 月 11 日(水)14:30～16:30　off 20 on 10 sum 30

１．＜IPCO STUDY>

「工業塗装へのオーダーメイドマスキングテープの活用」

(有)かこうや 取締役 福井亮介様

２．報告

ⅰ　コーティング・コンソーシアム取組状況

ⅱ　IPCO カンファレンスアンケート結果

ⅲ　コーティング・ジャパン東京

ⅳ　高度ポリテクセンター様での講義

ⅴ　九州セミナー

第３回(ハイブリッド開催)2024 年 12 月 11 日(水)14:30～16:30　off 24 on 9 sum 33

１．＜IPCO STUDY>

ⅰ「大阪油化工業㈱及び子会社のユカエンジニアリング㈱と㈱カイコー のご紹介」

大阪油化工業㈱取締役技術営業部長 戸村 吉裕氏

ⅱ「製品紹介」

㈱中農製作所　吉永取締役、上野部長

２．報告

ⅰ　コーティング・ジャパン東京２０２４ 報告

ⅱ　高度ポリテクセンター様塗装講座 報告

ⅲ　コーティング・コンソーシアム取組み状況

第４回(ハイブリッド開催)2025 年 3 月 12 日(水)14:30～16:30　off 23 on 3 sum 26

１．＜IPCO STUDY>

ⅰ　長瀬産業（株）様　サービス・取り組みのご紹介

GHG 削減ソリューション、労災 VR、流体解析など

ⅱ　（株）ナベル 様　製品紹介

塗装ロボット用カバー

２．報告

ⅰ　コーティング・コンソーシアム取組み状況

ⅱ　来期スケジュールについて

② コーティング・ジャパン東京　講演

2024 年 10 月 29～31 日　幕張メッセ　（IPCO 講演は 10 月 29 日）

講演者	講演テーマ
日本ペイント・サーフケミカルズ（株） 技術本部商品開発部 基盤技術ユニット マネージャー　三浦 裕佑	環境配慮型塗装前処理のご紹介 ー水性塗布型 1 コート技術ー
（株）ヒバラコーポレーション 代表取締役社長　小田倉 久視	塗装工場のための DX・AI 技術活用による省人化手法と実践
（株）ヒートエナジーテック 東日本営業課 課長　尾﨑崇志	カーボンニュートラル実現に向けた水素燃焼バーナ商品化と塗装設備への導入検討
戸﨑産業（株）代表取締役　戸﨑 寿人	工業塗装で取り組む環境対応
ユカエンジニアリング（株） 代表取締役社長　堀田 哲平	ユニット型装置による、短納期化・導入コスト合理化・省スペース化　ー溶剤回収および排水処理からの提案ー

③　「高度ポリテクセンター」様　塗装講座

IPCOカレッジ構想に先立ち、リカレント事業として高度ポリテクセンター様塗装講座開設に協力し、10月28～30日に「機械設計に活かす工業塗装技術」講座を開設しました。講師はIPCOの他、日本塗装機械工業会、一社）日本塗料工業会からも派遣いただき業界を横断した取り組みとなりました。今後、毎年開催されます。

月日	時間	講座名	講師
1 日目 10 月 28 日(月)	10:00～13:00	塗料と塗装の基礎技術	高寺貴秀
	13:45～16:45	塗装に関わる安全と環境	坂井秀也
2 日目 10 月 29 日(火)	10:00～11:00	塗装工程と塗装方法（素材と前処理）	山西和弘
	11:00～13:00	塗装工程と塗装方法	栁田建三
	13:45～16:45	塗装の品質管理	高橋大
3 日目 10 月 30 日(水)	10:00～13:00	塗装の品質管理	高橋大
	13:45～16:45	塗装製品における設計	林正明

(2)　Newチャレンジテーマ実績

コーティング・コンソーシアムへの協力

日本塗料工業会、日本塗装機械工業会と当社団の共同運営による「コーティング・コンソーシアム(CoCo)」にて、昨年度の「CO2排出量調査」結果を受け、今期は「工業塗装ライン工程別でのCO_2排出削減対策例」として、「工業塗装　Co2排出削減チェックリスト」の作成を担当しました。

第２号議案　２０２４年度決算報告

（様式1－1）　　一般社団法人　国際工業塗装高度化推進会議

貸 借 対 照 表

2025年5月31日現在

（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ、資産の部			
１、流動資産			
普通預金	3,841,043	2,646,220	1,194,823
小口現金	55,296	129,303	▲ 74,007
流動資産合計	3,896,339	2,775,523	1,120,816
２、固定資産			
（１）基本財産			
基本財産	0	0	0
基本財産合計	0	0	0
（２）特定資産			
退職給付引当資産	0	0	0
積立資産	0	0	0
特定資産合計	0	0	0
（３）その他固定資産			
その他固定資産	0	0	0
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	0	0	0
資産合計	3,896,339	2,775,523	1,120,816
Ⅱ、負債の部			
１、流動負債			
未払金	0	0	0
預り金	0	0	0
流動負債合計	0	0	0
２，固定負債			
退職給付引当金	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
Ⅲ、正味資産の部			
１、指定正味財産			
国庫補助金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
（うち基本財産への充当額）	()	()	()
（うち特定財産への充当額）	()	()	()
２，一般正味財産			0
一般正味財産	3,896,339	2,775,523	1,120,816
（うち基本財産への充当額）	()	()	()
（うち特定財産への充当額）	()	()	()
正味財産合計	3,896,339	2,775,523	1,120,816
負債及び正味財産合計	3,896,339	2,775,523	1,120,816

一般社団法人　国際工業塗装高度化推進会議

正味財産増減計算書

自 2024年6月1日　至 2025年5月31日

（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ、一般正味財産増減の部			
1、経常増減の部			
（1）経常収益			
基本財産運用益	0		0
特定資産運用益	0		0
1）退職給付引当資産	0		0
2）積立資産	0		0
受取会費			
1）正会員年会費			
①団体会員(120,000円)	360,000	360,000	0
②法人会員(60,000円)	1,020,000	1,020,000	0
③個人会員(12,000円)	84,000	96,000	▲ 12,000
2）賛助会員会費(60,000円)			0
事業収益			
1）グッドコート事業収益			
①審査費	0	0	0
②その他収益	0	0	0
2）IPCO STUDY事業収益			0
①一般参加料	0	0	0
②その他収益	0	0	0
3）IPCOカンファレンス事業収益			0
①出展料	0	0	0
②入場料	0	60,000	▲ 60,000
③その他収益	0	224,000	▲ 224,000
4）高度ポリテクセンター事業収益	0	0	0
①講師派遣料	316,800	0	316,800
②交通費	11,140	0	11,140
受取補助金等	0	0	0
受取負担金	0	0	0
受取寄付金(使途制限なし)	0	0	0
受取寄付金(使途制限あり)	0	0	0
前期繰越金(預金・現金)	2,775,523	1,692,871	1,082,652
雑収益(カンファレンス会費・受取利息)	1,764	19	1,745

（２）経常費用			
事業費			
１）講師費用※源泉含む	270,000	0	270,000
２）会場使用費	0	0	0
３）機材レンタル費	0	0	0
４）旅費交通費	11,140	0	11,140
５）宣伝広告費	0	0	0
６）会議費	0	288,106	▲ 288,106
７）通信費	0	0	0
８）運搬費	0	0	0
９）備品・消耗品費	0	0	0
10）図書印刷費	0	0	0
11）調査費	0	0	0
12）雑費	0	0	0
管理費			0
１）役員報酬	0	0	0
２）事務局報酬	0	0	0
３）臨時雇賃金	0	0	0
４）福利厚生費	0	0	0
５）退職給付費用	0	0	0
６）旅費交通費	0	0	0
７）宣伝広告費（広告出稿等）	86,000	86,000	0
８）会議費	0	0	0
９）通信費	39,518	46,906	▲ 7,388
10）運搬費	0	0	0
11）事務所費	100,000	100,000	0
12）備品・消耗品費	4,620	5,005	▲ 385
13）事務委託・顧問費			
①事務代行費	0	0	0
②電話代行	0	0	0
14）租税公課（印紙代・都民税）	80,600	80,000	600
15）減価償却費	0	0	0
16）図書印刷費	0	0	0
17）諸会費	50,000	50,000	0
18）雑費	27,050	0	27,050
19）会費徴収不能額	0	0	0
20）支払負担金（振込手数料）	3,960	1,760	2,200
21）支払寄付金	0	0	0
22）支払利息	0	0	0
経常費用計	672,888	657,777	15,111
未払金等取崩額	0	19,590	
評価損益等調整当期経常増減額	0	19,590	
基本財産評価損益			0
特定資産評価損益			0
評価損益等計			0
当期経常増減額	3,896,339	2,775,523	1,120,816

２、経常外増減の部			
（１）経常外収益			0
固定資産売却益			0
経常外収益計	0	0	0
（２）経常外費用			
固定資産売却損			0
災害による損失			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,896,339	2,775,523	1,120,816
一般正味財産期首残高			0
一般正味財産期末残高	3,896,339	2,775,523	1,120,816
Ⅱ、指定正味財産増減の部			0
受取補助金等			0
一般正味財産への振替額			0
当期指定正味財産増減額			0
指定正味財産期首残高			0
指定正味財産期末残高			0
Ⅲ、正味財産期末残高	3,896,339	2,775,523	1,120,816

一般社団法人　国際工業塗装高度化推進会議

損 益 計 算 書

自　2024年6月1日　至　2025年5月31日

（単位：円）

項目		金額	
売上高			
	公益事業の売上		0
	収益事業の売上		327,940
	売上高合計		327,940
売上原価			281,140
	売上総利益		46,800
販売費及び一般管理費（法人税、住民税及び事業税を除く）			321,748
	営業利益		-274,948
営業外収益			
	受取会費	1,464,000	
	受取補助金等		
	受取負担金		
	受取寄付金（使途制限なし）		
	受取寄付金（使途制限あり）	0	
	前期繰越金（預金・現金）	2,775,523	
	雑収益	1,764	
	営業外収益合計		4,241,287
営業外費用			
	支払寄付金		
	支払利息		
	営業外費用合計		0
	経常利益		3,966,339
特別利益			
	固定資産売却益		
	特別利益合計		0
特別損失			
	固定資産売却損		
	災害による損失		
	特別損失合計		0
	税引前当期純利益		3,966,339
	法人税、住民税及び事業税		70,000
	法人税等調整額		0
	当期純利益		3,896,339

一般社団法人　国際工業塗装高度化推進会議

付 属 明 細 書

2025年5月31日現在

１、基本財産及び特定資産の明細

（単位：円）

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額	脚注
基本財産		0	0	0	0	
	基本財産計	0	0	0	0	
特定資産	退職給付引当資産	0	0	0	0	
	積立資産	0	0	0	0	
	特定資産計	0	0	0	0	

※重要な増減があった場合には、その理由、資産の種類の具体的な内容及び金額を脚注に記載する。

財務諸表に対する注記

2025年5月31日現在

一般社団法人　国際工業塗装高度化推進会議

財務諸表に対する注記については下記の通りとする。

１、継続企業の前提に関する注記

該当事項なし。

２、重要な会計方針

（１）会計方針

公益法人会計基準(平成20年12月1日内閣府公益認定等委員会)を採用している。

（２）有価証券の評価基準及び評価方法

該当事項なし。

（３）棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品は最終仕入原価法による原価法による。

（４）固定資産の減価償却の方法

有形固定資産　定額法

（５）引当金の計上基準

賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるために、当期に帰属する期間の支給見込み額を計上している。

（６）キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

キャッシュ・フロー計算書は作成していない。

（７）消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

３、会計方針の変更

該当事項なし。

４、基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
該当事項無し	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
特定資産				
退職金給付引当資産	0	0	0	0
積立資産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

５、基本財産及び特定資産の財産等の内訳

基本財産及び特定資産の財産等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
該当事項無し	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
特定資産				
退職金給付引当資産	0	0	0	0
積立資産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

６、担保に供されている資産

該当事項なし。

７、固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
該当事項なし	0	0	0
合計	0	0	0

８、債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
該当事項なし	0	0	0
合計	0	0	0

９、保証債務等の偶発債務

該当事項なし。

１０、期末保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

期末保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

（単位：円）

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
該当事項なし	0	0	0
合計	0	0	0

１１、補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

（単位：円）

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
該当事項無し		0	0	0	0	
合計		0	0	0	0	

１２、基金及び代替基金の増減額及びその残高

基金及び代替基金の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
該当事項なし	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

１３、指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

内容	金額
該当事項なし	0
合計	0

１４、関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

（単位：円）

属性	法人等の名称	住所	資産総額	事業の内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末残高
						役員の兼務等	事業場の関係				
該当事項なし											

１５、キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

（１）現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に記載されている金額との関係は以下のとおりである。

（単位：円）

前期末		当期末	
現金及び現金同等物	2,775,523	現金及び現金同等物	3,896,339

（２）重要な非資金取引は、以下のとおりである。

（単位：円）

前期末	当期末
該当事項なし	該当事項なし

１６、重要な後発事象

（１）修正後発事象

該当事項なし。

（２）開示後発事象

該当事項なし。

１７、その他（資産負債及び正味財産の状況並びに正味財産増減の状況を明らかにすべき事項）

（１）会計方針の記載にあわせて注記すべき事項

該当事項なし。

（２）財務諸表の特定の科目との関連性を明らかにして注記すべき事項

該当事項なし。

（３）その他

該当事項なし。

2025年6月30日

第8期　監査報告

一般社団法人　国際工業塗装高度化推進会議

監事　望月　徳三

第8期 事業年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1、監査の方法及びその内容

理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求めました。

2、監査の結果

（1）事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。

（2）理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

（3）当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。

（4）計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。

（5）貸借対照表・正味財産増減書・附属明細書・財務諸表に対する注記など、公益目的の支出にかかる報告書は法令及び定款に従い、当法人の公益目的支出計画の実施状況を正しく表示しています。

3、追記情報

なし